

岩見沢市「地域福祉に関する市民アンケート」調査の概要**【調査の目的】**

本調査は、平成29年度から5年間を計画期間とする「岩見沢市地域福祉計画」の策定にあたり、岩見沢市民の地域の活動の状況や感じている地域課題、市の施策に対する意見等について把握することにより、計画策定と今後の施策検討に資する基礎資料を得ることを目的として実施する。

【調査の方法】**(1) 調査対象**

平成28年8月1日現在、岩見沢市内に在住の18歳以上の市民とする。

(2) サンプル数と抽出方法

上記対象者について、住民基本台帳から3,000人を無作為抽出する。

(3) 調査方法

郵送法により、調査票を発送し、返信用封筒により回収を行う。

※想定する回収率は40%程度（必要なサンプル数は1,200程度）

(4) 調査期間

平成28年9月上旬～平成28年9月中旬までの約2週間とする。

【調査項目等】

別添のとおり

【調査の実施機関】

調査の企画・実施者：岩見沢市健康福祉部福祉課総務グループ

集計・分析：岩見沢市健康福祉部福祉課総務グループ

岩見沢市「地域福祉に関する市民アンケート」の調査項目について

【調査項目一覧】

1. 基本情報

- ① 性別
- ② 年齢
- ③ 職業
- ④ 家族（世帯）構成（人数及び世帯構成）
- ⑤ 住まいの形態
- ⑥ 住んでいる地域
- ⑦ 住んでいる期間
- ⑧ 家計の状況
- ⑨ 健康状態
- ⑩ 外出の頻度

2. 近所との付き合い及び地域活動への参加状況

- ① 近所の人との付き合いの状況
- ② 町内会（自治会）加入の有無
- ③ 町内会（自治会）未加入の理由
- ④ 町内会（自治会）に必要だと思うこと
- ⑤ 地域での活動の内容
- ⑥ 参加した動機
- ⑦ 参加しない理由

3. ニーズ及び支援力の把握

- ① 日常生活において、問題や不安なこと（々関心のあること）
- ② 日常生活における問題や不安なことの相談相手
- ③ できそうな手助け、受けた手助け
- ④ 「受けたと思う手助けはない」場合はその理由
- ⑤ 生活困窮者について、身の周りに気になる方がいるか
- ⑥ 身の周りに気になる方がいる場合、どこに報告・相談したか？
- ⑦ 報告・相談しなかった場合はその理由は？

4. 災害時について

- ① 災害発生時に、自力で避難できない人がいたときにどう対応するか
- ② 手助けできない理由
- ③ 災害時の避難に際し、不安に感じていること
- ④ 個人情報の活用に関してどの程度許容できるか

5. 福祉サービスの担い手について

- ① 社会福祉協議会についてどの程度知っているか
- ② 社会福祉協議会以外の社会福祉法人についてどの程度知っているか
- ③ 社会福祉協議会やその他の社会福祉法人に求めること

6. 岩見沢市における福祉分野での評価（満足度）と今後の重要度

- ① 町内会活動
- ② 地域住民相互の助け合い
- ③ 民生委員・児童委員などの身近な相談支援体制
- ④ ボランティア活動
- ⑤ 社会福祉法人等による福祉サービス
- ⑥ 地域福祉を支える担い手づくり
- ⑦ 福祉に関する教育や福祉について学ぶ機会
- ⑧ 介護を必要とする高齢者に対する支援体制
- ⑨ 障がい者などに対する自立支援体制
- ⑩ 子どもや妊娠中の人、子育て中の人に対する支援体制
- ⑪ 生活困窮者に関する情報の把握、自立支援体制
- ⑫ 市民の健康づくり、健康の維持のための活動
- ⑬ 災害時における要支援者情報の共有と支援体制
- ⑭ 防犯などの地域の安全に関する活動
- ⑮ 差別や偏見をしないようにする意識
- ⑯ 福祉分野以外との連携による相談支援体制

7. その他

- ① 今後、特に力をいれるべき施策
- ② 今後の福祉サービスや事業の在り方について
- ③ 福祉関連の情報の入手方法
- ④ 地域福祉の推進について、意見、要望（自由記載）

【留意事項】

- ・あくまでも現時点での案であり、下記の視点等も踏まえ、今後、変更もありうる
- ・庁内連携会議及び策定委員会における意見等を最大限、反映させる
- ・質問数は最小限に抑える（回答者の負担を軽減し、未回答やいい加減な回答を防ぐため）
- ・後々、集計、分析しやすい質問内容とする（細かくしすぎない）
- ・選択肢に、同じような内容がないか、抜け漏れがないか、十分に検討する
- ・質問の意図を明確にし、不適切な表現等がないか、十分に検討し、抽象的な選択肢等、判断しにくい選択肢をできる限りなくす